

**第6期 (2008年度) S S C S (Small Schools for Civil Society)
インターンシップ奨励プログラム
活動カリキュラム (2008年6月～2009年6月)**

■ 団 体 概 要

記入日2008年2月

団体名 (小さな学校)	特定非営利活動法人 彩星学舎
代表者・連絡担当者	代表者 垣花 卓信 連絡担当者 橋本 克己
団体住所等	〒330-0043 埼玉県さいたま市浦和区大東2-12-33 電話： 048-884-1234 FAX： 048-884-1598 E-mail： saisei@saisei.jp URL： http://saisei.jp/ 連絡のつく曜日・時間帯： 月～金 10:00～18:00
設立時期	1999年4月 設立

団体の活動目的と活動内容

目的：子どもたちの健全な発達と自立を実現するために、市民の協働によって、学びのコミュニティーの場を創造することを、目的とする。
 活動内容：子ども・青年の健全な発達と自立を支援するために、他者とのスムーズなコミュニケーション能力の育成と、みずからの生きる力を増進することを目的とする、さまざまな活動（テーマをもった総合学習、自立の一步とする畑作と毎日の調理、生活体験を豊かにする古民家合宿、表現力を豊かにする演劇、地域に溶け込むバザー、タイ王国の子ども施設と交流する研修旅行、等々）を行う。また、家庭・学校・地域・関係機関との連携を図り、互いに協力して各事業の目的を達成する。

■活 動 カ リ キ ュ ラ ム

活動名	教育・福祉・医療等様々な学習ニーズを持つ子ども・青年の居場所づくり／事務局補佐
主な活動場所	特定非営利活動法人彩星学舎内／近郊各施設
最寄駅と駅からの距離	最寄駅： JR京浜東北線北浦和駅 東口 から バス+徒歩 10分程度
スケジュール	<p><活 動 な ど> (カリキュラムは、状況や事情により変更になる場合があります)</p> <p>2008年6月7,8日 事前研修会・入校式 (6期) ・インターン開始</p> <p><<前期>> 6～10月 ・通年コース 4月～3月の運営／企画・立案・実施 《ペガサス-高校生-コース》朗読、演劇、レクリエーション、畑作、パソコン、調理、などソーシャル・スキルの活動 《オリオン-中学生-コース》自主的な学びと他者とのコミュニケーションの促進を支援する活動 《キッズ☆シリウス》小学生のソーシャルスキル獲得を支援する活動 月1回 土曜日開催 《公開体験講座》彩星学舎の講座を公開し体験してもらう 月1回 土曜日開催 《シリウスコース》市民の自由な学びの場の提供 毎週土曜日 ・イベントの企画・立案・実施</p> <p>7～9月 《夏期特別活動》生徒の自主的な企画力や参加意識の向上を図る</p> <p>2008年11月頃 中間報告会</p> <p><<後期>> 11月 《バザー》物のリサイクルと地域住民との交流の体験 3月 《年度末学習発表会》1年間の体験・学習の成果を演劇で表現する 11月～6月 《製菓プログラム》就労を目指した取り組み クッキーの製造・販売 3月 ・年度活動の報告のまとめ～新年度の準備 3月～6月 ・事務局補佐(会議・ボランティアの受入や連絡・広報等)</p> <p>2009年6月頃 修了報告会(6期)／事前研修会・入校式(7期)</p>
総合的な受け入れ指導者名 (スーパーバイザー) :	小林 久夫
日常的な受け入れ担当者名 (メンター) :	橋本 克己

【団体名： 彩星学舎】

■ インターンに期待すること

特に専門性（教育・医療・福祉等）は必要としておりませんが、コミュニケーションスキルの向上を目指し、様々なつまずきのある子ども・青年と共に活動に参加したい、つかず離れず適度な距離感を保てる、色々な事に興味関心を持てる人を歓迎します。事務処理能力を活かしたい人彩星学舎を利用して下さい。

■ 活動日・活動時間についての希望

- ・基本的には活動日（月曜日～土曜日） 10：00～18：00の時間帯
- ・イベントの内容により曜日・時間等は要相談（合宿イベントや連日開催のイベント等）

■ 団体の活動を理解するために役立つと思われる資料や情報

- ・特定非営利活動法人彩星学舎 団体ホームページ HP <http://saisei.jp>
- ・特定非営利活動法人彩星学舎事業・イベント報告集、ビデオ各種（彩星学舎にお問い合わせください。）
- ・LD児の言語・コミュニケーション障害の理解と指導 著者 竹田契一他 日本文化科学社

■ その他

年間通しての活動が中心となりますし、今までの価値観や考え方ではコミュニケーションが思うように取れないことがあるかもしれません。しかし、スタッフ・生徒・ボランティア・関係機関・地域の人たち…多くの人たちと関わる事が出来ます。沢山の学びが得られる機会ですので、積極的に参加してください。様々なつまずきを抱えた子ども・青年が当たり前のように社会参加できる具体的な取り組みを共に考えながら、歩んでいきたいと思っています。

■ 先輩からのメッセージ

『市民社会とは何か？』という質問に、彩星学舎の生徒やアシスタント（と呼ばれるボランティアの方）、スタッフは、自身の姿勢で答えてくれます。自分の感性を信じて、必要な居場所を創っていくことの大切さと難しさ。奇跡的に出会った人たちと、時間と空間とミッションを共有することの面白さ。具体的な人と人とのつながりの中で、自分が成長できるのだと、SSGSインターンシップ活動を通して感じる日々は学生時代の貴重な体験でした。生徒もインターン生もスタッフも、みーんなが共に学び合う彩星学舎は、いつのまにか私の大切な居場所になっていました。叶うならば来年度もやりたいくらいですが…う～ん、6期の方、ぜひ1年間、何がとびだすかわからない、玉手箱みたいなフリースクール彩星学舎でインターン活動してみてください！人生観、かなりゆらぎますから（笑）。良い意味で！

通常講座「農作」でモロッコインゲン作っているときも、山梨の古民家キャンプで水を汲みに行っているときも、メンターと学校訪問しているときも、いつもそばに誰かいて、支えあったり文句言ったり（？）していました（笑）。

家族のような存在と、市民の手で創る居場所で働くことは、きっと一生の財産です。ぜひ、6期の活動を彩星学舎で私たちとともにやってみませんか？

第4期インターン 寺口 由岐子（埼玉大学4年・参加当時）

■ 先輩からのメッセージ

彩星学舎でインターン活動を始めてすぐに、私の中で衝撃的な気づきがありました。それは、はじめ私はフリースクールは“可哀想な子”が行く、暗いところだと思っていました。でも、それは違っていました。フリースクールとは、少しでも自分を変えていきたいという意志を持った子がやってくる、希望に満ちあふれた場所でした。生徒達は、すごく明るくて、私自身も生徒の一人だという錯覚がおこってくるほど居心地が良いです。季節によって大きな行事があるのも、活動がマンネリ化せず、充実した活動を続けることができる大きな理由だと思います。1日行っただけでも発見があるので、1年間活動をする、本当にたくさんの経験ができると思います！！

第5期インターン 脇 悠香（東洋大学1年・参加当時）

■ 先輩からのメッセージ

彩星学舎の活動の魅力は直に子どもの成長が見れるところだと思います。

私が初めてきたときはお互い緊張してしまい、会話もとてもぎこちなかったのを覚えています。

しかし活動に何度も参加することで、お互いに歩み寄ることができるようになり、お互いのことを知ることができました。その中でこの子はこういうことができるんだ、こういうことができるようになったんだと感ずることがしばしばあります。そして自分も活動を通して学びをたくさん得ました。

1年間かけて子どもたちの変化が見れることもそうですが、自分も何か変わったと思います。

第5期インターン 中山 悠子（日本社会事業大学3年・参加当時）